

付ける仕組みである。

〈山室議員〉

民間金融機関からの借入れが妥当では。また、本社は高森町であるが本村で借入れする理由は。

〈産業観光課長〉

南鉄の負担を減らしたいということで、県とも協議し無利子の市町村振興資金を借り入れた。

災害復旧事業費に係る地元負担については、南阿蘇村が担うという仕組みがつけられている。



掘削が進んだ犀角山トンネル

工事請負契約の変更について

〈山室議員〉

立野・瀬田裏線公共土木災害復旧工事は、当初予算が5600万円、補正額が2800万円。50%増額となる大きな変更があるのか。

〈建設課長〉

この場所は、2カ所の工事を1件工事として発注している。国の査定

を受けたとき、1カ所が斜面の崩壊で現状が把握できない箇所があった。土砂撤去後、再度国と協議をし、復旧工法が決定。増額分が2800万円ほどとなった。

小学生の登下校中の安全対策を

〈笠野議員〉

歩いて登下校する小学生の安全対策に阿蘇市・西原村も導入している。蛍光ベスト購入を考えると、

〈教育委員会事務局長〉

現在、交通安全協会から蛍光傘が新入生に贈呈されている。西原村等が導入している蛍光ベストは、児童の交通安全対策に非常に適している。先日、校長会議でぜひ導入をお願いしたいということであった。登下校時の交通安全対策として、当初予算に計上したい。

立野ダム関連ツーリズムイベント計画は

〈今村輝宏議員〉

立野ダム着工から、ダムファンは撮影に来たり、視察研修にも多くの人が訪れている。ツーリズム協議会も発足したと聞く。集客できるツーリズムやイベントの検討は。

〈産業観光課長〉

立野峡谷、ダム、北向山原始林、地区重要サイト等地域に存在する資源やインフラツーリズムも含めて、ツーリズムに役立てていくため阿蘇立野峡谷ツーリズム推進協議会を立

ち上げている。立野ダム事務所からも案内や提案をいただき、昨年11月に、JALパック主催のツアーを行っていている。この推進協議会の中で今後展開していく。ダム・峡谷等活かしたインフラツーリズムの商品製造等について検討している。

包括支援センターどうなる

〈後藤議員〉

水生苑が包括支援の業務を打ち切ると聞いた。事業中止の経緯は。また、今後どう対応するのか。

〈健康推進課長〉

30年9月頃、水生苑から職員不足で事業を縮小せざるをえないため、包括支援センターの委託を31年度から受けられないと相談があった。白水地区が一番高齢者を抱える世帯が多い。今後、久木野の社協で白水・久木野地区を担っていただくということ、現在職員を募集している。

災害公営住宅入居は

〈太田議員〉

今、災害公営住宅を増やすという計画の中で、被災世帯に既存の村営住宅にも案内するという事は、災害公営住宅に空きが出るのでは。

〈復興推進課長〉

現在、94戸建設予定に対し10戸が途中辞退や自主再建で空となっている。しかし50世帯ほど再建方法が決まっていない。その世帯に勧めていきたい。

〈村長〉

最近になって辞退された方が10戸と聞いた。原因も調べ空きがないよう対策をしっかりと考えていきたい。

その他の質問

〈笠野議員〉

- ・農業用施設災害復旧工事費は
- ・学校給食停止期間の対策は
- ・ウイナス営業時間の延長を

〈橋本議員〉

- ・乙ヶ瀬地区中山間総合整備事業は
- ・災害公営住宅の家賃減免を

〈今村竜喜議員〉

- ・農地集約協力金の説明を

〈太田議員〉

- ・通学路の危険ブロック解体は

〈桐原議員〉

- ・村道認定の経緯は

〈今村輝宏議員〉

- ・長陽パークゴルフ場再開は

〈後藤議員〉

- ・長野貞治基金の創設を

- ・3セク機材の修理・更新は

〈栃原議員〉

- ・鳥獣被害防止協議会助成金とは
- ・長陽憩いの家指定管理の現状は

〈立石議員〉

- ・利子補給の件数は

執行部より追加説明や報告

〈建設課審議員〉

- ・災害公営住宅の家賃について